제180호　1909. 8. 6.

（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月六日（金曜日）　第百八十號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

日本と極東

露國ルースキイ、ウエドモスチ新聞所說

極東に於ける最近十年間の政治狀態は歐洲就中我が露國と最も密接なる關係を有したりき日本、韓國、淸國等に於ける社會の思想狀態の運動を顧みずんば露國は幾多國民の血を流し且つ莫大の金を消費したる極東に於ける價値を減し其の利益を永久に失ふを免れざるなり

日本に於ける政治及び社會の狀態を觀るに確然たる一定の目的を立て、此の目的に向ひ秩序と活動とを有する整然たる進步を爲し居るを認むるなり日本は其の國力と經濟力とを內外特に日本に與へられたる韓國と淸國より割取せる臺灣等に向ひて鋭意發展せしめん事を期し居れり又日本は其の政治的勢力を大に淸國に扶殖し一層深く滿洲の懷裡に入らん事を努め之が爲に淸國より南滿洲に於ける鐵道、即ち法庫門新民間屯及び吉林間の鐵道敷設權を得ん事に努力せり若し日本にして此の鐵道敷設の事業を成功せんか是れ日本は淸國に於て特に露國に對して最も優越なる位置を占むるものなり如何となれば此の鐵道線路が現在の鐵道線路及び韓國と連絡せらるゝに於ては大なる戰略的意義を有し日本は之に依りて南滿洲と中央滿洲の一部を掌握せる者たるを以て也左れど日本は此の問題を解決し得る萬能者に非ず淸國や露國は日本の要求に對して抗爭するの力を有せざるも此の日本の鐵道敷設權要求に對して抗議を爲し得る者は英米獨の三强國なり

是等列强が此の鐵道線路の爲に抗爭せんとするは勿論露國や淸國を威迫せんとする戰畧的の爲に非ずして即ち日本の貿易競爭の爲めなり北淸、滿洲、蒙古等に於ける日本商品の市場を平和的に占領せんが爲めなり日本が淸國を歐洲貿易の爲に閉鎖せんとの現然たる目的を以て日本が淸國の門戶開放を要求するは歐洲諸國の許容し得る所に非ざるや勿論なり日本の强請は之に依りて全く失敗に終れり日本は淸國に對して再び接近せんとしたるも淸國はもはや日本の影響に從はざるなり

日本の對露關係は如何といふに日本は露國に對しては最も親善なる關係を持せんとする者なり左れど日本は其と同時に日露兩國間に早晚必ず戰爭の免れざる可きを公然隱すことなく公言せり日本人は平和の好望に耽醉する事をせず左れど自らは時節の到るまで戰爭を挑發する事を欲せざるも常に軍備を怠らざるなり云々

新刊紹介

●實業の日本「夏期の精神的健康は此の如き新鮮なる文字を讀むものに限る」と本號の內容は此にて盡せり一例を擧れば「銷夏には如斯方法あり」「世界を掩ふの大擾動來らん」等なり（十二卷十六號十一錢東京々橋區南紺屋町實業之日本社）

●貿易　內容は豐富には非ざれど最近貿易に關する事情は細大漏すなく擧げ指すが如し久保田氏の「滿洲の產業と貿易」は苟も眼を滿洲の貿易に注ぐものゝ一讀すべき文字なり（第十卷第七號十錢東京市京橋區宗十郎町日本貿易協會）

●東京經濟雜誌　重要記事十數種「麥酒の需用」「支配人と技師」「冗員淘汰の方針」「工場改善の方法」等は特に讀むべしとなす（一千五百一號十二錢東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）



第十七席　桃川燕玉演

松平伊豆守が地に御滯在をなさいまして、圖らず今大路氏部少輔といふ近衛殿の御家來の爲に不覺を取りまして、殊の外御怒りになりましたがどうも致方もございませぬ、そこで所司代太田備中守に御話をなされ關白殿下へ拜顔を致さうと云ふ、打揃つて八月廿六日關白の屋形へ出ました、午前の八時頃出頭をし、早速御會になることゝ一室に控へて居りましたが、待てど暮せど御會がございませぬ、兎角する中晝も過ぎ、午後一時、二時といふ、朝から晝過まで飲まず食はずに居られましたが、なか〳〵一通りの空腹ではない「どうした事、あまり人を馬鹿になされた御扱」と伊豆殿も大層いら〳〵して居らつしやる。所へ士が一人廊下を通りまするから　伊「暫く、殿下へ御目通りを致したいが、未だ拜顔は叶ひませぬか、ちよつと御伺ひを願ふ」士「私は其掛りの者でございませぬから餘の者へ仰せられまするやうに」と言捨てましてスタ〳〵行つてしまふ、誰に問合しても少しも受付けませぬ。すると「吉田殿々々」二聲三聲呼ぶ。三州吉田の御城主で居らつしやるから、偖は俺を呼ぶことだと立出になりますと一人の若侍「いや〳〵貴所ではござらぬ、是は此方に吉田と申す方が居らるゝ、元の御席に御控へなされ」何の事だと頬を膨らして元の御席へ着いた。暫らくすると「伊豆殿々々」といふ聲がします、いや此度は間違ひはない我等を呼ぶのだと心得まするから、ズッと其席を立出でますと　侍「アイや貴所を御呼び申したんではない、屋形の吉田伊豆守殿を只今御呼申した、貴所は元の御席に御控へなさるやう」いや伊豆殿が驚くまい事か、人を馬鹿にして何の事だ、吉田伊豆守と云ふ者が當屋形にあるそれで吉田だの伊豆殿だの、何しろどうも斯う待たされては堪らない、腹が減つて目が眩りさうだが、歸るには歸られず困つたものだと、太田樣と頻に御相談をなすつて居らつしやる。暫くすると玄關先が俄に閙がしくなりまして御乘込になつたのは、白丁の供廻り、蓋内傘を押立て、白木の御乘物に召されて御出になりましたのは神祇伯吉田從三位宰相といふ、御駕籠から御立出になつた、其日の御扮装は、薄綠立張り呪文の直垂に、薄紅梅丸龍二枚をさの冠を戴き、藤色の長纓を掛けまして、鐵漿を黑々と付けたまひ、蘭木の笏を持つて表玄關から徐々〳〵と御進みなさる、關白の太諸夫吉田伊豆守先に立つて案内を致す、シーッと云ふ警蹕の聲、暫くして關白の諸太夫吉田伊豆守太田殿と伊豆樣の御控へになつた御座敷に來て　吉「さて御待たせ申し嘸御待兼で在せられませう」御待兼と云つて午前の八時から午後の二時過まで待つて居る、一通りの待遠な事ではない、ホッと御二方は息をついた　吉「御案内を致す、此方へ……」二「畏りました」と御兩所衣紋を搔繕つて立上りました、間毎を經まして關白殿下の御座の間へ出ました　吉「其れへ御着座をなさい」二「ハヽッ」備中守伊豆守の御兩所ピッタリ席に着いて見ると、正面五十疊敷詰の御座敷でございまして白の御床の間、惣金の張付三幅對の御掛物には梨地御紋牡丹の紋付いたる御机、上には金の唐獅子香爐、蘭奢待の煙はしとやかに立昇りまする樣子、御簾の半を捲上げました近衛關白太政大臣。横繁松葉色に藤の丸咒文の直垂、紫ッ八藤形の指貫、透額の御冠、本紫の長纓を掛けまして御着坐に相成つて居る、左の方は神祇伯吉田從三位宰相良倶卿、下段右の方は御家の諸太夫三上播頭藤原の押重、吉田伊豆守源兼正、薄紅梅の狩衣、菊地の鑓、侍烏帽子を着けまして中啓を持つて控ねました、殿下の御後には御小姓が三人、稚兒が三人、翠の黒髪丈長に結び下げ、緋縮緬燃立つばかりの衣類白の御袴を着けまして、黄金造りの御太刀を持つて控ねまする、實に其の形相四邊輝き渡つて見ねまするから、伊豆守殿恐入つて平伏を致す。時に關白殿下「關東將軍の使松平伊豆、遠路太儀に存ずる、して家齋口上は如何の次第であるか、演說を仕るやう」伊豆守殿頭を擡げまして「恐れながら言上致しまする、今般我等を以て願上候は、當今公卿衆不行跡多く、兩院の別當直・尋問に及び度、依て議奏中山殿關東へ下向の段願上候此儀御聽濟み偏に願ひ奉りまする」殿下之を聞召し「其儀一應奏聞の上計らひ遣はす、役目大儀に存ずる、伊豆へ料理を取らせまするやう」殿下の御聲が掛ます



官吏の腐敗

京城新報

題して官吏の腐敗と云ふ、炎暑酷熱の時斯る問題を論議するは甚だ暑苦るし、然れども官吏の風紀漸々として壞敗しつゝあるを見ては之を看過する能はず、官吏の腐敗は官紀紊亂の基、官紀の紊亂は事務澁滯の基、事務の澁滯は軈て惡政に流るゝの變あるを意味す、是れ實に風紀問題に非ずして政務の消長に關する問題也、韓國の官吏は數百年來の陋習浸染せるを以て其腐敗は容易に脱する能はざるべしと雖も、君子國を以て誇りとする邦人官吏にして風紀紊れて韓人官吏と撰む所なきに至りては、獨り宗主國の威信を傷るのみならず、我が保護政治の進展を阻害するに至る也、殖民地の官吏には兎角惡風は免れずと輕々に看過す可らず、俗吏の腐敗―事甚だ小なるが如きも其影響する所は頗る大也、見よや京城に於ける邦人官吏の狀態を、其生活の比較的驕奢なる、其妻女の華美に過るの裝ひ等は未だ必ずしも賞むべきに非ざるも、淫蕩の風燄にして得る所の俸給を擧げて酒色に費すが如きものも少しとせず、此輩にして唯之に止まらしめば尚可なりと雖も、其心更に驕りて得る所の俸給にては充分に酒色の慾を充たす能はずとして、不正の手段を講じ官金を費消し、或は官文書を僞造して金を得んとするに至りては最早恕すべからず、一方には亦殖民地に官吏となりて來る須く金儲をなして富を遣らざる可らずとなし、一意專念利殖の道に熱心し日々の勤務は却て副たるが如く心得るものあり、斯る輩は御用商人と結托するか或は高利貸をなす、中には唯俸給を貯蓄するのみにては手緩となし、或は俸給のみにては其驕奢及虛榮心を充たす能はずとして、市中の無頼漢と伍して賭博をなすものあるに至りては風紀の頽敗も亦甚だしからずや、是れ單に風說に止るに非ず、日々の新聞記事に徵するも實際此等の徒の少なからざるを知るに足らむ而も新聞紙に現はるゝものは其一部にして其現はれざるもの頗る多し、彼等は官衙にありては鹿爪らしき擧措をなし居るも、一度靑樓に入り或は賭博をなすときに當りては直に其品性の下劣を暴露す、彼等が官金を費消し官文書を僞造し或は高利貸を內職とするに至るも畢竟は其品性の下劣なるが爲なるべしと雖も、一は周圍の境遇に化せられて墮落せるが爲也、今にして斯る奴輩を黜けざれば惡風紀は益々蔓延するに至るべし、斯る深淵に墮落せるものは些少の懲戒を加るも何等の効力なし、寧ろ斷然放逐するを可なりとす、此滔々たる風紀の壞敗を洗滌するには森嚴なる所置を採らざる可らず、徒に一片の譴責をなすが如き事にては到底矯正する能はず、敢て當局者の大なる勇斷を望む。

北京電報

▲**錫總督の決心** 東三省總督錫良氏は今後盛んに間島の經營を爲す決心にて日本の設備に三倍する豫算を編成せりと

▲**安奉問題と列國** 我が國の安奉線問題に對する態度は列國に於いても大ひに同情を表し列強も亦直接淸國政府の頑冥に對し好意的警告を與へ反省を促したり（五日東京經由）

▲**安奉線改修斷行** 安奉線の改修工事は淸政府の態度如何に拘らず斷々乎として所信を遂行する方針にて其の工程は全線を十四區に別ち同時に着手する筈にて竣功は二年半を要すべし

▲**生牛輸入禁止** 當分の內支那、韓國、西比利亞又は以上の各地を經由して生牛を輸入する事を禁止せるが右は但し食用の目的を以て輸入するものにして檢疫を受けたる後與に檢疫官の指定したる屠獸場にて屠殺するもの及び韓國政府にて日本政府の同意を經て定めたる檢疫所及び檢疫方法に依り行ひたる檢疫の證明書を有するものは此の限りにあらずと本日公布せらる本令は九月一日より施行せらる（五日午后東京經由）

東京電報

▲**安奉線工事準備** 滿鐵にては安奉線改築に關する煉瓦、セメント供給より一切の件に就き請負者と契約を了し命令一下次第工事に着手すべく萬般の準備整ひ居れり

▲**北白川宮の御慶事** 去四月北白川宮殿下に御降嫁相成りし房子殿下には目下姙娠四月にて來年二月御慶事あるべく兩陛下にも御滿悅の由に承はる

▲**所信斷行逼迫** 我政府は安奉線問題に對し日を限り淸國政府に最後の確答を促し今は唯だ淸國に對し改築工事に關する最後の通告を發する一途にあるのみにて我政府が所信を斷行するは茲數日の內にあり

雜報

●**韓國の治外法權**（條約締結の交渉中止）

日米間の韓國に於ける商標保護條約に倣ひ昨年來英、佛、獨諸國と我國との間に同樣條約締結の交渉中なりしが今回の日韓覺書により韓國の司法權を擧げて我國に委任する事となりたる結果列國が韓國に於て有する治外法權は遠からざる將來に於て撤去さるゝ望あり又一面に於ては韓國に於ける商標保護が一日を爭ふ程の急務にもあらざれば此際種々の手數と面倒とを見て條約を締結し一部の治外法權を撤去するの必要を認めざるにより此程該條約締結の交渉を中止せりといふ

京城電報

▲[illegible]恤金下賜 兩陛下より[illegible]に於ける朝日艦遭難死者に慰料を下せ賜はる（五日發）

[illegible]日より京城第一[illegible]同組合の經費を負擔することとなりたりと

今回役員の役割を完めたるが尹進榮氏當分[illegible]

●渡部書記官渡向 [illegible]圖書に關する囑托を受けたる文部書記官兼[illegible] 今般學部編纂教科用[illegible]等なりと

●遠藤經理部長東上 遠藤經理部長は三[illegible]

●**大審院設置** 司法權委任の結果從來の韓國大審院は廢止せらるべきも韓國人に對する裁判に關し法の適用を統一するが爲め新たに我大審院を設置することゝなるべしと云ふ

●**韓人日官問題** 韓人を日本帝國政府の官吏に採用することが憲法違反なるや否やは別問題として或一部の論者は韓人を帝國政府の官吏に採用することは明治三十八年四月一日帝國政府と韓國政府との間に交換せる韓國通信機關委托取極書に韓人を日本官吏に採用するとの條項あるを以て已に前例ある以上は今回成立せる司法權委任覺書に因り韓人を在韓日本裁判所の裁判官及監獄の官吏に採用することは毫も差支なしと主張する由なるが彼の通信機關委托書中の明文は決して韓人を日本政府の官吏に採用することを意味したるものに非ずして其條文は左の如し

韓國通信機關委托取極書

第六條 第二項、日本政府は管理及擴張の業務に關し可成多くの韓國官吏又は使用人を用ゆべし

●**曾禰統監病氣輕快** 曾禰統監の病氣は日々快方に赴き未だ登廳せざるも官邸に於いて事務を聽き居れりと

●**石塚長官代理全癒** 病氣にて引籠り中なりし石塚總務長官代理は全癒し五日より登廳したり

●**荒井次官の東上** 荒井度支部次官は五日朝不破事務官を隨へ東上の途に就きたり

●**大屋長官の東上** 鐵道廳大屋長官は韓國鐵道所屬變更問題に關する政府の召電に依り近々歸朝すべしと

●**地方費と外國人** 地方費を外國人に課するや否やに就ては三税と其性質を同一にせるを以て之れが適用の上に於て目下考案中なりと

●**私立學校獎勵補助** 各道私立學校中其成蹟良好なるものに對し學部は今回一道に一校を撰定し獎勵補助金を下附すべき旨訓示を發したり

●**武官學生日留學數** 武官學校解散後學生等は日本留學の件に就き協議したるに全員四十八名の中五名の留學不贊成者あり結局四十三名丈留學に決したりと

●**通譯兼掌者手當** 韓人宮內判任官にして日語に通ずるもの及日人の判任官にして韓語に通ずるものに對する特別手當支給の件は三日布達第十號を以て規定せられたり

●**無効宣言請求控訴** 曩に峰岸繁太郎より東拓會社に對し提起したる總督無効宣言請求の訴訟は第一審に於て原告の敗訴に歸したるを以て更に四日付にて統監府法務院へ控訴したり

●**一銀引繼の難物件** 第一銀行が韓國銀行に引繼ぐべき項目の中困難なるは引繼の前日迄に振出したる取立手形の如き遠隔の地方に振出し其金の回收されたる場合に於て其金は之を第一銀行に於て受取るべきか又は韓國銀行にて受領するやは豫め協定し置くべき重要問題にして斯る事例は最も多かるべしと云ふ

●**統監府重要會議** 統監府にては五日午前十時より石塚總務長官代理を初め岡內部次官、倉富法部次官、鈴木度支部次官代理、國分秘書官、中山書記官、兒玉會計課長等列し司法權實施準備に關する件其他緊急重要問題に就き午後二時迄會議するところありたり

●**間島電信の不通** 京城間島間の電信は咸興を經由する事となり居れるが咸興以北間島諸井村に至る間の電柱破壞したる爲め昨日來同島との電信は全く不通となりたり其原因は水害の爲めにして目下復舊工事中なりと

●**吉長借款協定**（全部の落着は未定）

吉長鐵道借款協議は鐵道收入金の預入は在滿州の橫濱正金銀行支店とし利子は淸國の主張通り一定の利息を附する事に決定せし事は既電の如くなるが右協定は委員相互間に調印を了したるものにて淸國政府の承認を經て全部の落着を告ぐべきやは未だ明かならずといふ

●**清兵間島增置** 淸國は奉天より步兵一營、昌圖より砲兵一部隊を間島方面に送りつゝあり此事最も秘密にして當局者以外は官邊と雖も知るものなしとの風說盛なり

●**來遊外人消費高** 來遊外人が韓國に來りて消費したる最近一年の金高は合計百〇九萬七千〇九十五圓の由にて渡來人員と來遊人員との割合は日本人約二割七分、支那人及其他外國人約一割八分なりと因みに渡來と稱するもの〻中には韓國[illegible]したるものにして外國に旅行し歸來したる者も含む

●**上半期獸疫發生數** 農商工部の調査に依れば本年一月より六月末迄の全國獸疫數は牛畜の發病一千二百六十頭內恢復六十四、死一千〇四十四、撲殺六十六、報告未接八十六、馬發病十二、斃死十二、豚發病二百九十八內斃死二百九十六、犬發病十三、全部撲殺、炭疽發生二百六頭中牛百九十五、馬一頭、豚十七、狂犬病十五中牛一、豚一、犬十三なるが本表以外の獸疫發生數にして報告に接せざるもの本表掲載數より尙多かるべしと

●**俵學部次官歸任** 俵學部次官は馬山より四日夜歸任したり

●**大坂火災と郵便物** 大阪の大火災は當地人士と大坂とが密接の關係を有する丈郵便物にも非常の影響を與へ京城郵便局が引受けたる大坂行郵便物の數は左の如き多數となりたる由尙ほ電報は不通の爲め不明なるが爲替には多大の影響を與へざる由

一日	端書	三、〇三三	封書	三、七〇八
二日	同	二、四一三	同	四、〇六一
三日	同	三、〇〇三	同	一、七九九
四日	同	三、六九二	同	二、八四二

●**一銀引渡準備多忙** 第一銀行にては引き渡しの爲め目下その準備に繁忙を極めつゝあるが來る十月中旬までには大体の引渡しを爲す迄に至るべきも全部の引渡しは韓銀重役決定し夫れ〳〵手續出來の上ならでは完整せざるべく自然本年末にあらざれば引渡を終了せざるべしと

●**各銀行會社上半期概況**（其四）

漢湖農工銀行

支配人 久能省三

資本金 四十萬圓

政府貸下金 三十二萬九千二百圓

積立金 二万千四百圓

利益配當 年一割二分

貸出金 百萬圓餘

預金 四十八萬圓餘

上半期營業狀況

昨年來經濟界の不振は延て本期初頭に至りて愈々甚だしく與に沈滯の極に達し加るに米穀下落の爲に一層商況の不振を來たし韓人の破產するもの少からざる悲慘の狀態なりしを以て貸出金の如きも頗る愼重の態度を取りたる爲に頗に寥々たるものなりき然るに四月半頃より銀相場の昂騰と滿洲大豆が多く歐洲に輸出さるゝより支那商人の資金を要するに至りし爲に稍活氣を呈し且本期末に於て米穀相場の稍々上向なるとより金融界は稍活潑に趣きたるも未だ以て經濟狀態の回復し來る兆と云ふ可らず唯一時の小好潮にして本期初頭の沈滯に比して稍緩ると云ふのみなり

營業方針は今日の如き險惡なる經濟狀態のときに於ては利益を擧るに遑らず極て安全の方法を取る、

貸出金は保證手形商業手形は三分の一位にして他は確實なる不動產等の擔保なり

商業手形は支那人三分の一を占む

貸付日步は四錢より五錢五厘に至る

支店は春川、開城、太田、忠州、江景にあり、其中春川は面白からざるも他は總て成蹟良好にして殊に江景の如きは最も良好也

●**法權委任と登記** 從來韓國に於ける登記事務は行政廳に於て取扱はれつゝありたるが今次の司法權委任に伴ふ結果日本の手に移るや否やに就き法曹界の問題となり居れるが現在漢城府に於ける登記料のみにても十萬圓以上に及ぶ由なれば將來に於ては全道にて少くも四五十萬圓の高額に上るべき見込なる由なるを以て研究に値すべき一問題なりと

●**小作人組合の施設** 國有田畑小作人は全國を通じて約二十萬あり度支部にては之等を獎勵して其經濟を發達せしめん爲めに小作人組合なるものを設置せしむる計畫中なりしが目下實施せるは或方面に於て二三箇所あるのみにして他は未だ報告に接せざるも之等は地方金融組合より資金を融通せしめ肥料、苗子、農具の改良及貯蓄等を獎勵し漸次其位地を改善せしめん筈なりと

●**三島支配人談片** 三島韓國一銀支配人の談片なりとして左の如き通信ありたり

▲大阪の火災と金融 大阪に於ける未曾有の大火が當地經濟界に及ぼすべき影響如何といふに元來目下夏季に際し取引の閑散なると罹災區域が不幸中の幸にして商業の中心地を避けたるの二事は當地經濟界にさしたる影響を與ふることなかるべし

▲金利低落 本邦に於ける金融の緩漫は頗る金利を低落せしめ有利なる事業に向て放資を望みつゝあるは多く云ふを要せざるも韓國にありては過渡時代を去るを遠からずして且つ農本位にして商業の不活潑なるの事實は金融の反應頗る遲鈍にして金利の昂低も甚しからず然れども之を十年前より考る時は其間一道の脈絡ありて金利は漸次低下しつゝあること疑ふべからざるなり

▲觀察道移轉 近時說を爲すもの觀察道廳の移轉を唱ひ現時各道の所在地を交通至便の地に移轉すべしと主張し當局の間にも此說有力なるもの〻如きも之等は再考を要すべき問題なり或程現在に於て觀察道を一般に至便の地に移すは一般の利便多かるべきも之が爲め治道の急用を忽にするが如きことあらざるか云ふ迄もなく今日韓國開發の急要は交通と運輸機關の發展にあり觀察道の不便の地域に存在するは偶ま以て道路の開設を自然的に急速ならしむべく促進せしむるものにあらずや桃李花蹊自ら徑をなすの語は味ふべきの言ならんか予は強ち反對するものにあらざるも須らく愼重の攻究を要すべき問題なりと信ず

▲資本家の放資を望む 在韓實業家は韓國に起るべき諸種の大事業の企畫者として必しも不適當と云ふべからざるも予は日本の大資本家が續々渡來して諸種の事業を企畫すべく奮起を要望して止まざるなり

●**中桐技師の北韓出張** 南韓地方工事視察中なる中桐技師は召喚によりて歸任したるが兩三日の內淸津羅南間起工の爲め同地に出張し豆滿江に通ずる道路落成迄北韓に駐まる筈なりと

●**米國總領事歸國** 米總領事サンモンス氏は來る十三日賜暇歸國の途に就かるべし

●**明石少將官舍移轉** 明石少將は專任軍參謀長となりしを以て此程龍山參謀長官舍に移轉せり

遠藤經理部長は三[illegible]を移轉せしむる目的にて龍山靑波に地を卜し廳舍を新築することゝなり目下[illegible]なりと

●**水野豐三氏** 關稅總長辭任後の同氏が新設韓國銀行の理事たるべしとの說は信ずべきが如し

●**文武官の叙勲** 七月三十一日付を以て左の如く叙勲せられたり

日本國內大臣秘書官勳三等 日高秩父 特陞叙勳二等八卦章

日本國滿洲艦長海軍大佐 中島市太郎 特叙勳二等八卦章

統監府技師勳四等 小山善 特陞叙勳三等賜八卦章

宮內大臣秘書官 森泰二郎 特叙勳四等賜八卦章

公人私人

▲長谷部言人（京大醫科大學助教授） 浦尾へ投宿中四日仁川

▲早川省三（農銀平壤支配人） 不知火投宿中四日歸壤

▲塚本信治（統監府特許局審査官） 東京、名古屋、京都、大坂、廣島、佐賀へ出張を命せらる

▲黑岩休太郎（農商工部技監） 夏期休暇を利用し五日朝東上す

近事片々

▲言ふ まいと思へど今日の暑さ哉實際昨日の暑では堪らぬ是も亦愚痴なる哉

▲流汗 淋漓一枝のペンを命毛として章に對し原稿を草す實に是れ額汗パンを得る也

▲咋だ パンを得るならば新聞記者程愚なるはなしペンに命あり世を警醒す是乃命也

▲暑中 休暇を利用して夏期講習會を山紫水明の地に開けとは頃者本紙の主張せる所

▲極て 少額の費用にて此催をなせば多數の贊同あらむ基督靑年會が發起しては如何

▲肉体 の保養も肝要なれども靈の保養も亦肝要也夏期講習會は眞に之に應ずる者也

▲爭淸 問題は愈々急なるが如し炎熱蠅を溶かすの時斯ることは聞くだに暑つくるし

▲雖然 極東の大事件憂くるしとも聞捨てにはならぬ願はくは平和の解決こそ望まし

▲如何 に淸政府と雖も最早自己の曲なるを悟るに至らむ深省すれば事は立所に決す

▲風雲 急なりと雖も平和を破るの要なし淸國亦人あり決して馬鹿なる眞似はすまじ

▲間島 不穩の徵ある爲に居留邦人四十余名淸津港に引揚げたりとの報は事實なりや

▲若し 事實なりとせば速に善後策を講じて在留邦人を安んぜしむる事なかる可らず

▲然ら ざれば其間誣說虛報頻りに傳はりて韓人等騷擾の口碑となる大に戒嚴すべし

▲司法 權委任に就て列國の治外法權撤去近きに行はるゝ望ありと是れ至當の順序也

▲日本 官煙今回販路擴張を講じ滿韓に大に發展を策す果して英米煙草に對抗し得るか

▲英米 トラストの商法振は無論其品質に於ても比較的良好官煙大に振はさる可らず

▲閔宮 相平安道の朴某より忌以しき名目にて京城裁判所に告訴せらる果して事實か

▲苟も 宮相の聖職に居る同氏に斯る事實はある筈なし片々は其なからむ事を望む也

▲獨領 亞弗利加に今度新にダイヤモンド鑛を發見せりと亞弗利加は金剛石の本場也

▲我領 地にも金剛石鑛を發見したきもの併金剛石は熱帶地方に多くあるを如何せん

學校教員夏期講習會は七日を以て終了の筈

▲弔慰料下賜 陛下より[illegible]阪火災罹災救恤金として一萬二千圓下賜せらる

尋常高等小學校に於て開催したる在韓小學校長會議は六日終了の筈なり

●負褓商組合の役員 負褓商組合にては[illegible]問したり

●米國總領事の訪問 米國總領事は五日午前十一時小松外務部長代理を統監府に訪問したり

文部省參事官渡部董之介氏の用向は從來東京の五印刷所に於て印刷しつゝある韓國教科書の原稿の審査及監督、書肆への交渉方と東上せり

●韓國監獄の移轉● 韓國政府は今回鐘路及西大門外に於る監獄が近々土工に着手すべく竣工は來年十一月の見込なりと

●夏期講習會ノ終了 師範學校に於ける[illegible]

●配達出拂 午後七時

相談の相談

(何んでも御相談に應じ升)

◎問 私は今年二十九に成ります現在は某職致しまして月額二十六圓を貰ふて居りますが私の働きとして又會社の經濟上決して不服の申せる月給ではありませぬが何分係累が多いので一家の經濟が支へられませぬ、老父母に妻に子供が二人小生を加へて六人、勿論私の子ですから皆幼少で有りますが老父母が面倒を見て呉れますので妻は内職に洗濯裁縫などを致して夏向は平均十圓の收入は有りますが此れは衛生費や家賃に費て終ひますから生活費は私の廿六圓で支へなければ成りませぬが如何云ふ風に致したらば宜しからうか御相談を致します(腰辨生)

◎答 成程、れ樂では無い樣ですが併し整理の餘裕は充分に有ると思はれます、其所でモ一度御面倒でも先月の支出諸經費表――ツマリ收支決算表ですな、夫れをれ遣はし下さい詳細に研究して見ます貴君れ一方の爲め計りでないから、都合に依れば氣に入らん事も申し上げますよ、前以つて御承知の上(係)

◎問 德壽宮と現度支部との間の道路上に大廊架がありますのは御承知でしようが往來から見上げたる其中央に菊の紋章が附してある彼れは抑も何んの意味があるのか僕は例の雜翟が呪咀の意味を以て描かしめたのでは無いかと思ふヨボの靴に踏み附けらるゝ床板の裏に如斯紋章を附けさして置くのは僕は無念に思ふ何う致した者か相談をします(通行人)

◎答 或は君の云はれる樣な意味があつたかも知れぬが母國帝室の御紋章とは大分相違して居る、彼は瓣が廿四あつて更に花が八重に成つて居る我 帝室のは十六瓣で單花です、取り除かせるのは統監府から云へば直きだが、何に然う齒牙に掛ける可らず、往來からは萬民仰ぎ見る所にあるのだからね(係)

●宋秉畯髯を落す

▲安藝妓を連れて避暑

渡日後の宋秉畯に就ては近來更に消息を聞かざりしが最近某社友の報する處に依れば彼れは先き頃赤阪邊の安藝妓を連れて湘州酒匂へ避暑と洒れ込み手製の朝鮮料理で舌鼓を打ち居りしが先般韓太子東北巡遊の際已れも供奉せんと申出でたるに伊藤太師より美事に跳ね付けられたれば負けぬ氣の宋は大に憤慨し自慢の美髯を惜氣も無く剃り落し山縣公や桂侯の門に頻りに出入し[illegible]事かに付き一生懸命に運動し居れり今髯を落したる理由なりとて彼れの云ふ處に依れば以前の髯は伊藤髯とも云ふべく伊藤公に知遇を受けたる紀念髯なれど最早同公とは全く絶縁したれば髯も又一新紀元を開らかざる可からず又嚢に伊藤公より賜はりし二十萬圓の金も即座に叩き返したり云々、尚ほ近々宋秉畯が歸韓すべしと傳へたるは何人かゞ立てたる噂に過ぎず目下の彼れは到底近き將來に歸韓すべき模樣なしと

●仁川賭博判決

▲何れも有罪と決定す

仁川賭博犯の公判は昨日午前十時仁川理事廳内にて判決の言渡しありたるが小笠原忠一、小林松太郎の兩名は罰金二百圓 龜井芳雄・鹿江俊雄の兩名は同百五十圓 山岡利平は同百圓に處し尚ほ罰金完納せざる場合は小笠原及び小林は三ヶ月山岡は二ヶ月と十五日鹿江、龜井は一ヶ月と十五日勞役場に留置する旨言渡されたり

●釜山の名物藝妓

釜山の特別郷は永福樓に永福と云ふ年増女あり同人は名古屋生れで同地の遊廓で初めて左褄を取り後熊本に轉じ其れより溫泉で名高き伊豫の道後の芳春樓で本名のお雪を藝名とし普通の妓の倍線香にて中々全盛を極め其名のお雪のれの如く彼れの肌は雪の如しとて當時流行せしサノサ節に『辛苦して一手二手の罪重ね、去年の冬より客持てヤット世に出る夏氷りつい融け安い雪の肌』と道後、松山邊の花柳の巷に盛んに唄はれたる程なるが其後彼れは日露戰爭の際一攫万金を夢みて釜山に來り前記永福樓に現はれ一時は其嬌名を唄はれたるも彼れも本年三十五歳の姥櫻寄る年波に何時しか色も褪せ果てゝ昨日の榮華は今日の夢、今昔の感に堪へざるものありしと然るに茲に先き頃當地の某大身が同地の紳士に誘はれ一夕の歡を同樓に盡したる際永福も側に侍りしかば件の大身は一本の扇面に『樓の名にちなむ妓侍り薰衣香』と筆跡麗しく書き與へければ永福の喜悦例ふるに者なく娼妓の身の冥加に餘る事なれば永く紀念として保存せんと喜び居れりとかさるにても風流紳士の名を逸したるこそ遺憾なれ

●餡入指輪で詐欺

仁川港碇泊中の漁船樂組員廣島縣生れ水主澤菊松(四十)と云ふは大阪の新聞に二圓位の純金指環の廣告あることを見て友達ちの鈴木某に託して其の一個を購入せんとしたるが去月中に四個を送付し來りたれば十七個を[illegible]して之れを受け取りたるが品物が餘り能く出來て居る所から茲に一策を案じ其の一個を携へて本町四丁目中島質店に至り三匁五分あればとて十三圓を借り又他の四匁のもの一個を同[illegible]じき手段を以て十五圓で同家に質入したる後於青島漁場韓人宋審房と云ふを言を巧みにして騙まし込み十五圓にて入質せるものを十六圓九十錢にて買ひ込みたること刑事の知る所となり一昨日同人を引致し直に檢事局に送りたりと

●會社員の只飲

千葉縣葛飾郡行德の事當時龍山瓦斯會社工夫與田長吉(三十)は一昨四日夜同職六名と共に當地長谷川町二丁目五番戶料理店榮屋事松田さき方に於て翌午前三時迄飮酒し他の六名は一足先に返し自身は後に殘りしも飲食代五圓三十五錢の支拂出來ざる爲め同店の酌婦を捉へて引受け置けと依賴せしも之に應ぜざりし爲め自分はドスもありピストルもあり抔と恐迫がましき事を並べ立つるにぞ止むなく會洞派出所に斯くと訴へ出でしかば巡査出張せしに益々猛り狂ひ既に暴行にも及ばんとせしを南部署に引致されしが同行者たりし明治町三丁目二十六番戶請負業館助七が引受け仕拂ふ約束に示談を整へ放還さる

●淸人の强盜殺人

去る七月十九日平安北道昌城郡東倉面より北鎭に通ずる路上に於て淸人柳元德及其長男の二人酒賓入れの爲め蒲石河口に赴く途中淸人七韓人一の賊現はれ拳銃を亂射して右二人を殺害し百五十圓を奪取り去りたるが右賊は其前に梨木里附近に於ても支那行商人より三百圓を強奪したる事ありと

◎淸人韓人を殺す

七月二十七日午後十一時過ぎ三名の淸國人平安北道龍川府揚西面黃陳淵方に至り宿泊せんことを強請したるも之に應ぜざりし爲め淸國人は拳銃を以て黃の胸部を射擊し即死せしめ木綿三反金二圓を竊取し逃走せりと

◎受賞者行衛捜索

橫濱市吉岡町一の六元第二大安丸大工日野原仙藏と云へるは去る三十七八年戰役に依り行賞あるべき筈なるに其後渡韓し本町七丁目に居住する由なるが果して居住し居るや否やに付き南部署に問合せありたり心當りの者は同署に申出づべしと

●靴と金の拾ひ物

一昨四日午後二時頃本町通に於て編上靴半足同日午後九時永樂町二丁目に於て財布中一圓餘外に鍵七個を拾得して屆出し者あり心當りの者は南部署迄

◎東檢番の新妓

名古屋生れ三木トク(三二)は昨日より小勇と名乘り開進亭より東檢番に現はる同妓は本年二月より三月迄僅かに一ケ月同亭にて勤め居たるものなりと

俳優評判記(四)

姬廼家きみ子

●●目下歌舞伎座で立女形を務めて居る西井錦太郎と云ふがある伊井容峯の畑に育つた東京仕込み、妖艷賞す可き女形である少しく地方の小舞臺では体の大き過ぎる樣なれど其れが爲め舞臺は大に引立つ天性妖つぽい顏形の上に聲さへ艷々しい方で深刻な臺辭に乏しい故悲劇の主人公たる女性には聊か不適當だ、作りは毒婦として宜しいが立廻りが餘り上手でないから之れも錆つた方でない、先づ藝妓上りの夫人にでも扮したら最も適當するであらふ兎に角容姿が前記の如く妖艷なる爲め舞臺に出れば確かに他の俳優を喰つて居る、尙ほ同人が四年前元の京城座に來た時前きの內部大臣宋秉畯の野田平が魅魂惚れ込んで是非俺れに周旋せよと云ふので座員の某はアレは男でございますと云ふも野田平中々承知せず彼れが扮裝の儘手を取つて自宅へ引張り行き初めて男と云ふ事を發りしがそれが爲め大變に最負を受けたと云ふ珍談がある

演藝



▲歌舞伎座 ●●● 彰義隊一座本日の替りは『刑事の苦心』『小櫻れ玉』全七場にして役割左の如し

小櫻れ玉(西井)母れちよ(桂木)松本秀之助(河野)火の玉勘治(角村)銀の貝井上(玉川)齋藤貢(中村)梁川淸(大和)松本政明(松村)由兵衛(小谷)れさら(小神)銀行員加藤(天草)作造(有村)松本健之助(愛澤)掏摸の虎(木下)源兵衛(美崎)小狐久治(篠崎)

▲京城座 ●●● 梅花美團今明兩日の替りは『除隊兵』にして役割左の如し

梶憲兵は佐(横山)休職陸軍大佐(松村)荒川大尉(吉野)神田伍長(眞部)佐久間上等兵(部)松山時夫(東)片桐、將屋政五郎、瀨川)甚兵衛(眞部)へ嬢きみゑ(横田)

◀平民文庫▶



▲大阪に大火災ありしより同市民の當地に移住するもの少くも五百を下らざるべしとの見込みを以て當地家主連は從來少々宛引き下げつゝありし家賃を反對に二割若しくは三割方を引き上ぐべしと申合はせたり居留民諸君此の期に接せば一同申合はせて家賃を支拂はざる樣せられよ(家主の番頭)

▲兎角世間は色と酒雄色を好む等々得手勝手の理屈を付け强ひて籍路を氣取り靑年の頭の悲哀を味はすして物質的快樂にのみ沈溺せる彼等のあはれさよ、予は唯思ふ

▲如何に絶世の美人と雖も面皮一重をはがば敢て常人と異らざるを(梅森瓦蔵)▲瓦斯鐵管の埋設をする爲めに道路を掘りくり返して居るのは宜いが埋設後の地ならしに海苔巻餅程の太さの棒でコツン／＼地面を突ッついて居る量の程が分らない市吏員の干渉が必要だ(通行人)▲下宿料を踏み倒して夜逃時代には有りうちの事だ濟し返つて居るとか云ふ篠塚某は相變らず泥硯筋をもぐつて生命に別條ないと云ふ食逃兒にもくられる奴もだが身分を知らない彼れは唖然とするにだも値ひせぬものだ(への字)▲昨日の文庫に出た中田さんと云はるゝ方は〇〇商會の方では御座いませんが彼の人なら井門の彼の妓とも(能知生)▲四日の夜南山湯の女湯の入口が開けつ放してあつたが甚だ不都合だと思ふ注意し玉ゑ(入浴者)▲長谷川町太平町附近の料理店組合に勸告す組合店にては自家にて料理をせず酒だけ置き料理は別に臺屋なるものを置き臺一枚何程と定め各家其の代價表を揭示して置いたなら輕便にて至極繁榮の良策と思ふが何うだ(世話燒)▲駄目だ、然うすれば料理店の資格がないから營業は許可せられない、貸席業とか待合業とか業名を變改めなければ行へぬ(小僧)▲本町通り菓子屋向ひの〇服店のドンブ／＼女は無樂棕だ商人の家には不適當だよ(江戶生)▲長谷川町二丁目の東亭の女は先夜取つた扇子を僕に返すのに『覺えて居て』と云つた僕はモウ恐ろしくつて彼の邊は通れぬ(卑怯男)▲夜旭町南山町一帶の諸官舍を南山噴水の下邊から眺めると中々の美觀である(散步客)▲少し涼しい投書を歡迎す(係)

食道樂

▲さかえ ◎◎◎ 壽町二丁目へ食道樂さかゑと云ふ新料理屋が出來た色氣なしの御手輕料理專門と云ふので一寸覗いて見た成程入口からして頗る雅致に富んで居る自分の行つたのは夜中であつたが先づ沐浴を勸められ新らしい浴衣に着替へ欄干に依れば庭園に臨み燈、角燈、風雅さ、仰げばモヤに込められた南山の夜景も一入面白く涼しい風が肌を通ふして吹き込む、看板の如く餘り色氣もなささうな年増の仲居の酌でヒヤシビールでやつてゐるの日本料理に箸を下す成程料理は甘い器物も面白いそして價も安い鱈腹退治て門に出づれば三人の女中が行列で見送つて居た(〇△生)

△此の種の投書を歡迎す



●紳士の遊興振

右は紙面の都合に依り本日休載

天氣豫報

(自五日午後六時至六日午後六時)

北東の風晴れ

四日(華氏) 最高溫度 九一、八 最低溫度 七〇、二

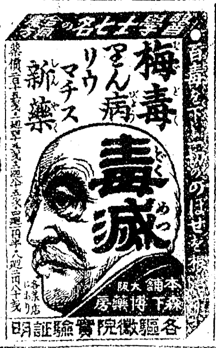
各種洗濯石鹼專門製造販賣
用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用
朝日石鹼製造所
京城旭町二丁目 (電話九七三番)

▲無料紹介欄▼

人事部
●行商人募集 石油行商人二十五歳以下身体强壯志想堅實勞働を厭はす忍耐力ある者本人來談 龍山元町三丁目韓組(二〇七)
●英文代書 通譯應需 本町一の七五中村
●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)
●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語に通ず不問職業被雇たし 氏名在社(四一三)
●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社(四一二)
●家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社(四一四)
●下女入用 年齡三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社(四一七)
●被雇たし 月俸廿五圓以上を望む通信事務韓語飜譯中等敎育年廿四不問職業 氏名在社(四一八)

物件部
●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一一)
●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家賃面談 氏名在社(四一五)

廣告



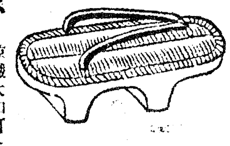
完全ナル懷中藥


代理店
京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番
京城本町三丁目 新井藥房第一分店 (電話四七八番)
京城南大門外 新井藥房第二分店

◉氣候變化=牛乳
◉牛乳=純良=消毒
韓國畜産株式會社
南大門外(電話八八番)

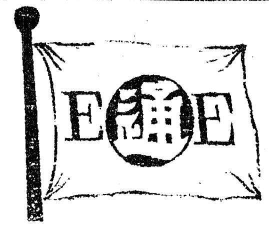
▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶横小路 (元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

東京 正札付大安賣
歐米雜貨各種 洋服毛織周衣地各種
Ⓣ建部商店
明治町一丁目



下駄 正札付 大安賣
厘も引なし 安心して買へ升
本店東京 京城大和町一丁目 日の出横 大和屋 藤井出張店

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス)
京城旭町二丁目六十七番戶
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)



貨物運送取扱 危險擔保附運送 稅關貨物取扱 代金引換品貨物運送 發行送達
內國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 草梁驛前 電話六一六番 電話五三七番
龍山派出所 龍山驛構內 電話二〇六番

營業科目
活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 製本裝釘 (印刷)
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ尙ホ一層ノ勉強ヲ以テ營業致候間倍舊御愛顧之程奉願上候也
日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

移轉御披露
京城旭町三丁目十六番戶(三日月湯下隣)
東京庵
東京生そば
電話九五五番

銘酒


仁川港 醸造元 大森酒場
韓國一手發賣元 NA 永島商行
京城日の出町一丁目 (電話架設中)

梅毒專門 皮膚病一般 痔注射療法(不要入院)
京城南大門外市場櫻家旅館内 神戶資生院長 出張診察所 電話三百十二番
院長府立大坂病院專攻 元兵庫縣立福原驛梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す
南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す

待合 永樂町 嬉野

東京產婆學校卒業 產婆 莊野キヌ 龍山十五間道路 鐵道官舍十六號ノ一

滋養と牛乳 衛生と消毒
馬車配達
純良牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話二〇六九番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 獨逸國スカンジヤ自轉車
時計御商 韓國特約販賣店
時計卸小賣 特約販賣店
喜多金光堂本店 本町三丁目 電話七五〇番
喜多金光堂支店 本町二丁目 電話架設中


京城光化門通 淺田洋服店 店主 大島專藏 (電話四百十二番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白消化 脂肪 ヂゲスチン
錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢
錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)一圓四十錢
右は最近内地に於て錚々たる各地有名なる藥店に於て販賣す 需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四丁目山口吳服店 電話九番
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓 事務所 京城本町二の三 電話〇六〇番

時節柄病敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候に付御客様に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長七〇一番)

中元大賣出し
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
水上商店
和洋酒、酒類、麥酒、食料雜貨、ビール、米糧、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、荒物、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

待春日
春日

●簿記學生徒募集
本校教授科目 商業會社銀行官廳鑛山工業農業鐵道家計貿易數學英語日語
●入學年齡十五歲以上四十五年以下
本校卒業生中優等者は商店會社官廳等の各方面に就職上の特典あり
●志願者は至急申込るべし呈校則
京城太平町太平湯の處に在り
漢城高等簿記學校

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通 株式會社十八銀行京城支店 (電話四二〇)

本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、鎭南浦、羅州、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 月 日午後三時
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 月 日正午時
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月十七日午前四時
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月廿六日正午
●釜山出帆、元山、浦鹽行 立神丸 月
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ケ月前金五十錢 ▲三ケ月前金壹圓四十錢 ▲六ケ月前金貳圓 ▲郵稅一ケ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 ▲四號活字十九字詰一行四十錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 橋久神一郎
發行所 京城新報社 京城南大門通 電話六六三番